

「令和4年度伊達市経営に関する説明会議（伊達地域）」発言録

日 時：令和4年4月25日（月）

13時40分～14時20分

場 所：伊達福祉センター 大会議室

参加者：36/37人（1人代理出席）

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

復旧・防災・減災関連

■伊達橋の復旧にかかる進捗状況について

行政推進員（上川原）：上川原というのは伊達橋を通過して、すぐのふれあいセンターの周辺なので大正橋を回ってくるのがこれほど不便なのかと感じたところであり、ます。これからイオンが令和6年12月ですか、あと2年ちょっとでできるというところで、橋を架け替えにするのか補修するのかわかりませんが、3年とも5年ともいわれていて3年と5年ではかなり違う。これからどういうスケジュールで行くのか、どんな話になっているのか逐一情報提供していただきたい。北福島医療センターの周辺の道路のお店は閉店状態ですよね。そういったことも含めてまちづくりには非常に重要な国道399号ですので、今後のスケジュールをお示しいただきたいと思います。

建設部長：3月16日の福島県地震によりまして、伸縮装置というつなぎ目のところ、橋の下の部分の橋を支える部分、全て壊れたという状況です。これに伴いまして、3月30日に直接、市長が福島県に緊急の要望をしております。また、4月8日におっしゃるとおり国の権限代行ということで決定しました。4月11日に福島県に確認したところ、国土交通省の保全監督官が現地調査に入っているという情報はいただいているところです。今の現段階ではいつ、どうなるといえる状況ではないと伺っているところですが、復旧の具体的な内容は国土交通省、福島県、伊達市も含めまして情報の共有をしていきながら対応についてしっかりと進めていきたいと思います。情報についてはホームページなどで皆さんにお知らせして進めてまいりたいと考えております。

■避難所の設置について

行政推進員（原町）：令和3年度の総会を書面の議決を取ったが意見があった。「3月16日の福島県沖地震の伊達市の対応について、避難所の開設にあたって伊達橋が不通であるのに川東地区に設置されなかったのはなぜか。伊達市は市に1カ所あればよいと形だけの対応にしか見えない、合併しなければこんなことがなか

ったのかな。これに限らず今後合併の弊害がいろんな場面で起こると思う」という意見ですけど、私は、今はそういうことはないと思いますが、2019年の豪雨の時も、去年の地震の時も、伊達は川西地区だけで川東地区は設置されない。それでそういうことを思っているのかなと思う。確かに川西だけが人口が伸びて、川東は減っていますが、第一に川西ではなく、川東も同様に考えてもらいたい。伊達市は農業が売りということもありますから、そういうところをしっかりと市の経営方針で考えてほしい。

危機管理担当参事：3月16日の福島県沖地震の避難所設置については、私たちにも意見が届いておりました。今回の地震については夜中で停電が発生したところもありましたので、各地域に1カ所ずつ自主避難という形で避難所を開設しました。伊達地域と限らず、ほかの地域についても各1カ所ずつという形をとらせていただきました。状況に応じては避難所の数を増やすという対応も考えるところでした。一昨年台風の時も自主避難という形をまずはとりましたので、こちらが避難指示という形を明確に出した場合には避難所の数を増やしてまいりますけど、一旦は自主避難という形で設置する場所を設けることをご理解いただきたいと考えています。地域の状況によっては阿武隈川を渡って避難はできないというご意見もありますので、今後反映させていきたいと思っております。

■伊達橋上流側の歩道橋について

行政推進員（滝前）：地震の時に最初に確認したのが伊達橋の隣にある橋です。伊達中に勤めていましたので、子どもたちにとっては通学路の生命線なんですよ。あれがだめになると、川西の子どもたちは伊達橋を歩いていくのは危ないですよ。子どもたちはあそこを通るしかないですよ。来年また同じような地震であれもだめになったらどうなるのかなと思う。あの橋だけつぶさないようにしてもらいたい。この間の地震でどれだけのダメージがあったのかとか調査していただき、補修の必要がある場合には早急に補修して地震で壊れないようにしてほしいなと思います。あの橋が通れなくなったら、保護者から大騒ぎになると思います。小さな橋だけど大きな橋なのでケアをお願いしたい。

建設部長：伊達橋の上流側に架けられている歩道橋というものでございます。こちらについても国道399号線の歩道ということで福島県が管理している橋ですが、今回の地震で一部フェンスが破損していると伺っておりまして、補修につきましては保原土木事務所で対応していくと伺っております。現状についても県の方でこれから調査をしたいと思いますので、伊達市としてもしっかりと調査した中で安全というところをしっかりと協議に入りながら進めてまいりたいと思っております。

まちづくり・地域振興関連

■水・水路等の保全について

行政推進員（駅東）：市長から伊達市の経営方針ということで5つの柱についてお話をいただいたわけですが、もうひとつ柱を作っていただきたいと思います。それは「水のまち」。伊達地域は400年前の西根堰の完成により恩恵を受けてきたわけです。しかし、特に川西地区、イオンモールも含めて宅地化が進んでいます。農地が少なくなって利点はあるんでしょうが、町内を流れる水の量が極端に減ってきている。町内会の小川でも水の量が減ることで水質の汚濁、ボウフラ等の虫害が目立つようになった。少しでも流れがあると汚れも目立たないということもある。私の地区を最後にして、下水道も完備するようですし、汚水が流れるケースは少なくなるかと思いますが、上流の西根堰の方から今までのように流していただけると非常にありがたい。その辺のところを対応していただきたい。

建設部長：水質の問題というところで、水量が減ってきているという状況が目に見えているということでございますが、伊達市としましても流域下水道関連公共下水道事業で、分流式下水道という方式で家庭から出てくる雑排水やトイレの水などをすべて処理した形で、国見町にあります県北浄化センターに流していく計画を進めています。下水道の整備は進めているところですが、一番は水洗化率ということであります。皆さんに接続していただければ、家庭から出る雑排水が排水路に流れてしまって水質が悪くなってボウフラがわいたり、悪循環ということもありますので、市としましてもしっかり下水道の整備も含めたいので、水質環境の保全に努めてまいりたいと思います。

■町内会の入会について

行政推進員（東町1）：私の町内会は会員数が年々増加しまして、3年前に会長に任命を受けた当時は350世帯だったのが、今年4月1日に会員総数が391世帯。4月以降、新しい分譲地に新入居者が入りまして日曜日のたびに町内会の入会の案内に行っている。そういう状況から総合支所に相談に行き、住民票を届けた段階で町内会長に新入居者の情報の連絡をくれと話をしたが、個人情報は一切言えないという回答だった。町内会長の任命を受けているので、入居者の情報くらい市役所で教えるのが当たり前だと思う。町内会で連携してごみの集積場も維持管理していますので、その案内を町内会長として入居者に説明しています。個人情報で教えられないなど、何のこと言っているんだと憤りを感じています。対応についてお答えいただきたい。

総務部長：日頃から市の行政を進めるには皆さんの協力ができないと考えております。転入者の情報をすべてお渡しできれば皆さんの活動がスムーズにいくと考えております。ただ、市民の方々にはいろいろな考え方があります。市としましては法律というところで物事を考えなければなりません。支所から個人情報で教えられないということも一つの答えかなと思いますが、皆さん同じ思いがあると思います。どうすれば町内会の会員の方が増えて、みんなでやってい

けるのか、皆さんは行政推進員と町内会長の二つの肩書を持って活動いただいていると考えております。今の要望にストレートに分かりましたと言えないところではありますが、改めて総合支所長を含めてまたご相談させていただいて何かいい方法はないか探していきたいと思えます。

■町内会の入会のパンフレット作成について

行政推進員（東町1）：入会のパンフレット作ってください。伊達市と町内会が連携した形で新入居した方に町内会へ入会のご案内をしますというパンフレットを作って、その方にお渡しをすればスムーズに間接的にできるんじゃないですか。個人情報に関係なく一般的なやり方としてはいいのではないかと思います。

行政推進員（北2）：北2でも町内会の総会を開催しましたが、若い班長からなぜ町内会に入らないといけないのかと問いただされて、町内会に入るメリットとデメリットは何ですかと言われて役員は即答できませんでした。こういうことは昔から大人の感覚でそういうことは言っちゃいけない、言わせちゃいけないという暗黙の了解があると思うんですけど、そういうことと言われて役員はショックを受けました。そこで町内会入会の案内のパンフレットが福島市にあるということでもらってきました。伊達市もこういうのを発行してはどうか。

未来政策部長：町内会の問題等でありたい意見であります。昨年、全地域の自治会を回った中でも同じような意見をいただいております。パンフレットなどが福島市にあるということですので参考にしながら、市としても町内会に入る方にお渡しできるようなものを作るように勉強して検討してまいりたいと思えます。